

事務事業名		観光地マネジメント研究会基礎調査参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	
	政策	2 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					担当係	観光立市推進係		担当課長名	小野 勉	
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開					新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	1 総合的な誘客を図る観光戦略の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	10748	一般	7	1	3	観光地マネジメント研究会基礎調査参画事業						
	事業計画	単年度繰り返し	事業期間	23年度～ 年度		根拠法令 条例等	なし					
		事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
		実施方法		一部委託		事業分類		参画事業				
		リーディングプロジェクト		該当		市長マニフェスト		該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
観光地の持続的な成長手法を、科学的な視点から考え、普及させていくことを目的とした研究会である、財団法人日本交通公社観光地マネジメント研究会が、観光客の満足度を調査するための基礎調査に参画する。 観光施設やイベント会場などで来訪者にアンケート調査票を配布する。郵便での回収、集計、基礎分析は財団法人で行う。 自地域の調査結果は後日送付され、魅力ある佐野市づくりの指標に活用できる。			<研究会の活動> 平成27年1月上旬から2月末にかけて、アンケート調査を実施した。 <事業費の内訳>負担金 0円(H26年度は実費負担なしで実施できたため)							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			アンケート配布件数	件	1,500	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
来訪者			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			市の入り込み客数	千人	8,576	8,623	9,000	9,500	10,000	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
目的			アンケート調査に協力してもらう。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			アンケート回収率	%	20	15	30	30	30	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
国内に居住する人に本市の魅力を知ってもらう。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			ロケ誘致件数	件	37	42	45	50	55	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	0	0	50	50	50			
	事業費計(A)	千円	0	0	50	50	50			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
							印刷製本費	50	印刷製本費	50
	人件	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2		
のべ業務時間	時間	20	30	50	50	50				
人件費計(B)	千円	78	118	197	197	197				
トータルコスト(A)+(B)	千円	78	118	247	247	247				

事務事業名	観光地マネジメント研究会基礎調査参画事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光立市推進係
-------	----------------------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成22年度に財団法人日本交通公社観光地マネジメント研究会が、全国の会員を対象に、観光客の満足度・再来訪意向・紹介意向・消費額等を調査することとなった。23年度から本調査に参加することにより、全国規模の満足度等の水準と本市の水準を相対的に比較できるため、(本市の誘客促進の基礎データ取得のため)参加することとした。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	社会における価値観やライフスタイルの多様化などにより、観光の形態も団体型から個人型が主流になってきており、多様な価値観やニーズに対応した着地型観光商品を造成することで地域活性化につなげる取組など、それぞれのニーズに合った観光サービスの提供が求められている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	議会一般質問において、観光行政の経済効果の把握等の質問が出ている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 観光客の満足度・再来訪意向・紹介意向・消費額等を調査することにより、観光客が本市に何を求めているか、本市は何を提供しているか、地域の核となる魅力を再検討できる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	委ねられる・委ねられる可能性がある	理由・改善案 アンケート調査に参加するためには財団法人日本交通公社観光地マネジメント研究会の会員にならないといけないが、会員となるには、行政や観光協会等でなければならない。また、研究会の実施する調査への参加が可能である必要がある。観光誘客を総合的・計画的に推進するための基礎資料であり、観光地マネジメント研究会の会員を対象としているため、会員である市が行う必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 本市へ来訪した方にアンケート調査に協力してもらい、本市への満足度を調査するので、対象と意図はあっている。
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名 他に代わる廉価な調査はないため、代替はできない。
	*類似事務事業があれば、名称を記入	
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
総合 評価	削減の余地はない	理由・改善案 必要最低限のコストである。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求めない	理由・改善案 受益者は全市民であるため、受益者負担を求めない。
	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	本市への満足度を調査することにより、観光誘客の増加を図るための指標でもあり、観光地マネジメント研究会の基礎調査が廃止にならない限り事業を終了することはできない。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					